(2) 後退部分の登記について

- 分筆済み (後退用地が既に分筆されている場合)
- 分筆予定 本申出は分筆後の提出となります。事前相談は分筆前でも可能です。※分筆した(する)後退部分は、市が最終確認をしますが、再分筆が必要となることがあります。
- 市で分筆 測量・境界確認後、市が分筆を行いますが、売買契約後の施工となるため時間を要します。

(3) 所有権以外の権利について(抵当権・根抵当権等)

- 有 → 抵当権が設定されている場合、市が買い取ることはできません。
あらかじめ抵当権等を抹消していただくと、手続を短縮できます。
- 無 → 後日、抵当権等を設定する場合は必ず報告してください。
売買契約が締結できなくなるおそれがあります。

(4) 後退用地の道路舗装について

- 市で舗装 (原則、雨水排水設備があり、前面道路が舗装済みの場合のみ)
(申出書提出から1年～2年程度要します)
- 申出者で舗装 (舗装構成は前面道路に合わせてください)
- 不要・不可 (舗装済み、舗装不可)

3 後退用地内の公共物件について

- 汚水最終ます → 市による後退用地内への移設が可能です。
- 雨水最終ます → 申出者(土地所有者)で後退後の民地内に移設してください。
- 上水道 → 企業庁水道局に相談し、後退後の民地内に移設してください。
- 電柱・電話柱 → 設置者と相談し、後退後の民地内に移設してください。
(東京電力、NTT等)
- 防犯灯 → 後退後の民地内に移設してください。

4 隣接地との境界について (申出地と隣接する土地との境界が決まっているか否か)

- 確定済み
- 未確定 → 本申出は確定後の提出となります。確定できない場合、申出はできません。隣接土地所有者と連絡ができない場合や境界位置の承諾が得られない場合は、法務局で登記を行うことができないため、本事業は利用できません。

担当 〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号
鎌倉市都市整備部道水路調査課
境界担当
0467-61-3552(直通)

狭あい道路拡幅整備事業申出事前相談票

記入例

- ・太枠内を記入・チェックし、添付書類を1部添付して御提出ください。
- ・御提出していただいた相談票に基づき現地確認を行い、本申出の可否について回答します。この回答は現地状況による可否の確認であるため、申出後の測量結果や土地の権利関連の状況によってはその後の手続を進められない場合もあることを御了承ください。

例：隣接地権者の境界確認が出来ない、十分な後退が出来ない、工作物の除去が出来ない、法務局備付けの公図等の問題で分筆が認められない、抵当権を抹消できない等

・添付書類:案内図・公図・全部事項証明書・地積測量図・配置図

※全てコピー可、存在する物のみで可。

登記資料(公図・全部事項証明書)がない場合は市で取得しますが、時間を要します。

提出日	令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日	
申出地	(地番表示) 鎌倉市 御成町○○番○	
申出人 (土地所有者)	住所	鎌倉市御成町18番10号
	法人名	株式会社○○ (担当者) ○○
	氏名	鎌倉 太郎
	電話番号	0467-23-3000
	F A X	0467-24-3592
申出代理人 (土地所有者 以外が申出する 場合の連絡 先)	住所	神奈川県○○市○○ 1-2-3
	氏名	(株)市役所ハウス 担当○○
	電話番号	○○-○○○○-○○○○
	F A X	○○-○○○○-○○○○

1 申出区分について

(1) 売買 寄附

(2) 建築確認 既後退地 自主後退

建築行為に伴い後退する場合は「建築確認」、既に後退済みの場合は「既後退地」、建築に関わらず後退する場合は「自主後退」となります。

(3) 隅切り有り 隅切り無し

隅切り部分についても狭あい道路拡幅整備事業の対象になります。

隅切りは、原則として斜辺2mの二等辺三角形の形とします。

2 申出地について

(1) 所有について

自己所有 → 後日、住所移転をする場合は必ず報告してください。

売買契約が締結できなくなるおそれがあります。

共有 → 共有者のお名前を記入してください。

鎌倉 花子

(複数の場合は別紙添付か、登記書類参照でも構いません。)

裏面に続く

(2) 後退部分の登記について

- 分筆済み (後退用地が既に分筆されている場合)
- 分筆予定 本申出は分筆後の提出となります。事前相談は分筆前でも可能です。※分筆した(する)後退部分は、市が最終確認をしますが、再分筆が必要となることがあります。
- 市で分筆 測量・境界確認後、市が分筆を行います。売買契約後の施工となるため時間を要します。

(3) 所有権以外の権利について(抵当権・根抵当権等)

- 有 → 抵当権が設定されている場合、市が買い取ることはできません。あらかじめ抵当権等を抹消していただくと、手続を短縮できます。
- 無 → 後日、抵当権等を設定する場合は必ず報告してください。売買契約が締結できなくなるおそれがあります。

(4) 後退用地の道路舗装について

- 市で舗装 (原則、雨水排水設備があり、前面道路が舗装済みの場合のみ)
(申出書提出から1年～2年程度要します)
- 申出者で舗装 (舗装構成は前面道路に合わせてください)
- 不要・不可 (舗装済み、舗装不可)

3 後退用地内の公共物件について

- 汚水最終ます → 市による後退用地内への移設が可能です。
- 雨水最終ます → 申出者(土地所有者)で後退後の民地内に移設してください。
- 上水道 → 企業庁水道局に相談し、後退後の民地内に移設してください。
- 電柱・電話柱 → 設置者と相談し、後退後の民地内に移設してください。
(東京電力、NTT等)
- 防犯灯 → 後退後の民地内に移設してください。

4 隣接地との境界について (申出地と隣接する土地との境界が決まっているか否か)

- 確定済み
- 未確定 → 本申出は確定後の提出となります。確定できない場合、申出はできません。隣接土地所有者と連絡ができない場合や境界位置の承諾が得られない場合は、法務局で登記を行うことができないため、本事業は利用できません。

担当 〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号
鎌倉市都市整備部道水路調査課
境界担当
0467-61-3552(直通)